



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
コード番号 7722 URL <https://www.kokusaikk.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 進一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 松本 博司（TEL）042-371-4211
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,669	38.0	239	—	152	—	25	—
2024年3月期中間期	4,106	25.6	△877	—	△558	—	△530	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 128百万円（—%） 2024年3月期中間期 △242百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1.85	—
2024年3月期中間期	△38.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	21,210	10,907	49.9
2024年3月期	20,517	11,015	52.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 10,590百万円 2024年3月期 10,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	7.4	400	—	400	—	200	—	14.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	14,200,000株	2024年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	662,634株	2024年3月期	451,693株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	13,687,213株	2024年3月期中間期	13,748,350株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2024年12月10日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、半導体不足による影響が緩和されつつあるものの、部品納期の長期化や資源高の影響を受けており、ウクライナや中東情勢の緊張が長期化し、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、部品納期の長期化や資源高の影響を受けているものの、景気は緩やかながら回復の傾向を見せており、電気自動車を中心として企業の設備投資は再検討されております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当中間連結会計期間において堅調に推移しており、当社の主力顧客である日系企業や中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機の大型受注や、国内部品メーカー向けの電気サーボモータ式試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高56億6千9百万円(前中間連結会計期間比38.0%増)、営業利益2億3千9百万円(前中間連結会計期間は8億7千7百万円の損失)、経常利益1億5千2百万円(前中間連結会計期間は5億5千8百万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純利益2千5百万円(前中間連結会計期間は5億3千万円の損失)となりました。

売上高につきましては、部品等の供給不足に伴う製品製造期間の長期化や、客先との納期調整は継続しているものの、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上検収が増加したことにより前中間連結会計期間と比較して増加しております。利益面につきましては、前中間連結会計期間と比較してバランスングマシンの売上伸長により利益を計上しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本(国際計測器株式会社)]

海外向けバランスングマシンの出荷・検収が増加したため、全体として出荷・検収は増加いたしました。
その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	47億8千2百万円(前中間連結会計期間比44.2%増)
経常利益	3億4千6百万円(前中間連結会計期間は4億6千8百万円の損失)

[日本(東伸工業株式会社)]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加したものの、材料試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前中間連結会計期間と比較して減少しました。

売上高	1億4百万円(前中間連結会計期間比32.2%増)
経常損失	3千4百万円(前中間連結会計期間は3千5百万円の損失)

[米国]

外資系自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	2億7千万円(前中間連結会計期間比39.5%減)
経常損失	1億7千6百万円(前中間連結会計期間は1億1千8百万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前中間連結会計期間と比較して増加いたしました。

売上高	10億5千8百万円(前中間連結会計期間比108.9%増)
経常利益	1億9千2百万円(前中間連結会計期間比150.6%増)

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少したものの、経常利益となりました。

売上高	2億8百万円(前中間連結会計期間比37.7%減)
経常利益	2百万円(前中間連結会計期間は2千1百万円の損失)

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

(資産の部)

当社グループの当中間連結会計期間末の資産合計は、212億1千万円(前連結会計年度末比6億9千2百万円増)となりました。これは、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少(前連結会計年度末比12億4千6百万円減)したものの、現金及び預金が増加(前連結会計年度末比12億6千6百万円増)したことや、中間連結会計期間以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加(前連結会計年度末比10億6千2百万円増)したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当中間連結会計期間末の負債合計は、103億3百万円(前連結会計年度末比8億1百万円増)となりました。これは、約定返済により長期借入金が減少(前連結会計年度末比2億7千万円減)したものの、仕入が増加したことにより支払手形及び買掛金が増加(前連結会計年度末比3億3千1百万円増)したことや、受注の増加により前受金が増加(前連結会計年度末比6億6千3百万円増)したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当中間連結会計期間末の純資産合計は、109億7百万円(前連結会計年度末比1億8百万円減)となりました。これは、為替換算調整勘定が増加(前連結会計年度末比8千7百万円増)したものの、配当金を支払ったことなどにより利益剰余金が減少(前連結会計年度末比1億1千2百万円減)したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により17億3千万円増加し、投資活動により3億4千7百万円減少し、財務活動により4億6千2百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ9億2千9百万円増加し、61億6千3百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、17億3千万円の収入(前中間連結会計期間比3億6千4百万円の収入増加)となりました。これは、仕掛案件の進捗により棚卸資産が8億7百万円増加したものの、仕入債務が3億1千5百万円増加したことや受注の増加により前受金が5億7千9百万円増加したこと及び利息及び配当金の受取額が1億1百万円あったことや売上債権の回収により売上債権が12億8千4百万円減少したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3億4千7百万円の支出(前中間連結会計期間比5千7百万円の支出減少)となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が12億1千万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が15億2千2百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4億6千2百万円の支出(前中間連結会計期間比1億7千1百万円の支出減少)となりました。これは、長期借入金の返済による2億4千5百万円の支出があったことや配当金を1億3千7百万円支払ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年11月5日に公表の「2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,248,824	9,514,854
受取手形及び売掛金	3,644,488	2,397,881
商品及び製品	318,688	180,922
仕掛品	2,408,559	3,470,727
原材料及び貯蔵品	774,297	732,653
その他	411,376	413,605
貸倒引当金	△13,474	△7,543
流動資産合計	15,792,761	16,703,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,178,107	3,176,397
機械装置及び運搬具	253,234	254,998
土地	1,310,017	1,308,793
リース資産	3,036	3,036
その他	352,478	351,495
減価償却累計額	△2,228,036	△2,279,729
有形固定資産合計	2,868,838	2,814,992
無形固定資産		
その他	55,267	70,377
無形固定資産合計	55,267	70,377
投資その他の資産		
投資有価証券	298,819	265,532
繰延税金資産	19,236	17,467
保険積立金	1,182,352	1,176,590
その他	711,981	592,446
貸倒引当金	△411,483	△429,854
投資その他の資産合計	1,800,907	1,622,182
固定資産合計	4,725,012	4,507,552
資産合計	20,517,773	21,210,652

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,963,838	2,295,129
短期借入金	1,340,000	1,360,000
1年内返済予定の長期借入金	555,044	579,962
未払法人税等	72,075	125,119
賞与引当金	89,242	117,937
製品保証引当金	97,313	103,269
前受金	2,313,968	2,977,348
その他	482,111	425,431
流動負債合計	6,913,593	7,984,198
固定負債		
長期借入金	2,119,974	1,849,966
繰延税金負債	73,223	67,876
役員退職慰労引当金	184,056	188,296
退職給付に係る負債	192,149	194,047
資産除去債務	18,548	18,698
その他	494	350
固定負債合計	2,588,445	2,319,236
負債合計	9,502,039	10,303,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,162,267	8,050,126
自己株式	△327,246	△426,601
株主資本合計	9,794,520	9,583,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,887	144,751
為替換算調整勘定	775,482	862,670
その他の包括利益累計額合計	943,369	1,007,421
非支配株主持分	277,843	316,771
純資産合計	11,015,733	10,907,218
負債純資産合計	20,517,773	21,210,652

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,106,897	5,669,146
売上原価	3,243,391	3,681,547
売上総利益	863,505	1,987,599
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	62,634	52,700
貸倒引当金繰入額	166,637	12,483
役員報酬	155,966	153,140
給料手当及び賞与	421,460	484,272
賞与引当金繰入額	55,381	46,171
退職給付費用	17,082	24,913
役員退職慰労引当金繰入額	4,440	4,240
運賃	111,759	228,802
減価償却費	18,294	18,269
研究開発費	43,913	13,211
その他	683,895	709,983
販売費及び一般管理費合計	1,741,465	1,748,188
営業利益又は営業損失(△)	△877,959	239,410
営業外収益		
受取利息及び配当金	69,484	103,229
為替差益	273,347	-
その他	8,068	7,348
営業外収益合計	350,900	110,577
営業外費用		
支払利息	12,966	12,644
支払手数料	16,322	1,928
売上債権売却損	1,779	1,252
為替差損	-	175,730
保険解約損	621	124
その他	126	6,076
営業外費用合計	31,815	197,756
経常利益又は経常損失(△)	△558,875	152,231
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△558,875	152,231
法人税、住民税及び事業税	10,565	97,719
法人税等調整額	△53,183	6,624
法人税等合計	△42,618	104,344
中間純利益又は中間純損失(△)	△516,257	47,887
非支配株主に帰属する中間純利益	13,963	22,545
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△530,220	25,341

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△516,257	47,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,835	△23,136
為替換算調整勘定	312,112	103,571
その他の包括利益合計	273,277	80,435
中間包括利益	△242,979	128,322
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△271,624	89,393
非支配株主に係る中間包括利益	28,645	38,928

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△558,875	152,231
減価償却費	75,177	74,761
貸倒引当金の増減額(△は減少)	166,590	12,483
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,340	28,813
製品保証引当金の増減額(△は減少)	19,982	4,614
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,503	2,225
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,840	4,240
受取利息及び受取配当金	△69,484	△103,229
支払利息	12,966	12,644
為替差損益(△は益)	△142,866	123,707
売上債権の増減額(△は増加)	1,576,220	1,284,108
棚卸資産の増減額(△は増加)	60,101	△807,692
仕入債務の増減額(△は減少)	△474,432	315,222
前受金の増減額(△は減少)	730,928	579,028
その他	△121,928	6,766
小計	1,317,063	1,689,926
利息及び配当金の受取額	45,665	101,663
利息の支払額	△11,817	△13,792
法人税等の支払額	△22,214	△93,439
法人税等の還付額	37,588	46,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,366,285	1,730,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△889,767	△1,522,142
定期預金の払戻による収入	511,480	1,210,396
有形固定資産の取得による支出	△28,654	△18,677
保険積立金の積立による支出	△19,568	△8,980
保険積立金の解約による収入	22,376	14,854
その他	△1,048	△22,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405,183	△347,383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△240,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△256,870	△245,090
自己株式の取得による支出	-	△99,354
配当金の支払額	△137,324	△137,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634,194	△462,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	256,297	8,342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	583,205	929,441
現金及び現金同等物の期首残高	5,187,596	5,234,285
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,770,801	6,163,727

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式210,900株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が99,354千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が426,601千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマ シン	1,940,329	—	64,787	196,686	51,287	2,253,090	8,060	2,261,151
電気サーボモー タ式試験機	593,060	—	190,609	63,069	3,272	850,011	60,351	910,362
材料試験機	—	66,128	—	—	—	66,128	—	66,128
シャフト歪自動 矯正機	170,710	—	—	3,085	64,287	238,082	2,544	240,627
その他	395,340	—	120,896	41,535	46,706	604,480	24,147	628,627
顧客との契約か ら生じる収益	3,099,440	66,128	376,293	304,377	165,554	4,011,793	95,103	4,106,897
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,099,440	66,128	376,293	304,377	165,554	4,011,793	95,103	4,106,897
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	218,084	12,600	71,320	202,244	169,493	673,743	104,894	778,637
計	3,317,524	78,728	447,614	506,621	335,047	4,685,536	199,998	4,885,534
セグメント利益 又は損失(△)	△468,599	△35,530	△118,449	76,684	△21,810	△567,704	47,860	△519,844

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△567,704
「その他」の区分の利益	47,860
セグメント間取引消去等(注)	△39,031
中間連結損益計算書の経常損失(△)	△558,875

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が65,184千円含まれております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマ シン	3,216,025	—	132,552	407,713	29,761	3,786,053	33,132	3,819,185
電気サーボモ ータ式試験機	690,863	—	—	116,312	—	807,175	1,057	808,233
材料試験機	—	91,476	—	—	—	91,476	—	91,476
シャフト歪自動 矯正機	110,060	—	—	124,571	15,015	249,647	24,322	273,970
その他	472,123	—	124,260	44,867	20,932	662,183	14,097	676,281
顧客との契約か ら生じる収益	4,489,073	91,476	256,813	693,464	65,710	5,596,537	72,609	5,669,146
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,489,073	91,476	256,813	693,464	65,710	5,596,537	72,609	5,669,146
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	293,867	12,600	13,917	364,770	143,096	828,251	140,141	968,393
計	4,782,940	104,076	270,730	1,058,234	208,807	6,424,788	212,751	6,637,540
セグメント利益 又は損失(△)	346,138	△34,901	△176,231	192,202	2,719	329,929	59,161	389,090

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	329,929
「その他」の区分の利益	59,161
セグメント間取引消去等(注)	△236,858
中間連結損益計算書の経常利益	152,231

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が175,519千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

区 分	生産高(千円)	前中間連結会計期間比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	3,819,186	+68.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	808,233	△11.2	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	273,970	+13.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	91,476	+38.3	日本(東伸)
その他	676,281	+7.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,669,146	+38.0	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

区 分	受注高(千円)	前中間連結会計期間比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	5,142,105	+35.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	1,112,869	△26.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	208,741	△13.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	268,683	+17.2	日本(東伸)
その他	774,136	+44.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,506,536	+19.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当中間連結会計期間末(2024年9月30日)

区 分	受注残高(千円)	前中間連結会計期間比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	10,985,136	+51.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	2,644,155	+6.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	440,316	△37.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	223,685	+13.5	日本(東伸)
その他	97,855	+41.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	14,391,148	+34.4	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

区 分	売上高(千円)	前中間連結会計期間比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	3,819,185	+68.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	808,233	△11.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	273,970	+13.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	91,476	+38.3	日本(東伸)
その他	676,281	+7.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,669,146	+38.0	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。